

ごみ処理施設の 建て替え時期が 迫ってきました

◆一般廃棄物処理施設整備基本構想(概要版)◆

平成28年3月

能代山本広域市町村圏組合では、能代市、藤里町、三種町、八峰町の1市3町から発生するごみを、三種町にある南部清掃工場（可燃ごみ処理施設）、八峰町にある北部粗大ごみ処理工場（不燃ごみ・粗大ごみ処理施設）で処理を行っています。

しかしながら、南部清掃工場や北部粗大ごみ処理工場は老朽化が進み、さらに各施設から焼却灰等を受け入れている能代市の一般廃棄物最終処分場は、埋立スペースの減少により使用できなくなります。そこで、本組合では今後のごみ処理方法を検討するため、一般廃棄物処理施設整備基本構想を策定しました。

1市3町（能代市、藤里町、
三種町、八峰町）から出たごみ



①三種町
可燃ごみ処理施設

老朽化

②八峰町
不燃ごみ・粗大ごみ処理施設

老朽化

③能代市
一般廃棄物最終処分場

使用終了

・まだ運転できるのでは？

・いつ つくるの？

・大きさは？

・どんな 施設？

・どこにつくるの？

・新しい施設の運転開始は平成37年度が目標です。

・平成28年度から施設のイメージや建設場所などの検討を開始します。

※詳しくは、次のページを見てください。



【各施設の位置】

